

【夜明け】

— 岡山広告研究会の設立—大正 9 年(1920 年)

日本における中小小売業者がその経営について、組織的に動き始めたのは大正 7、8 年ころと推定される。己の利益ばかりを追求する商売から、世のため人のために貢献する商売・商法すなわち小売商業を革新するために岡山という地方都市で商店経営法を研究する「岡山広告研究会」が設立された(総員 12 名)。後に「岡山商談会」「岡山名実会」と改称さる。

— 赤ちゃん会の結成—大正 12 年(1923 年)

出産に関連した店 8 店で赤ちゃん会を結成した。その赤ちゃん会では、出産から授乳期の間、必要とする物を取り扱う店(出産祝・産着・ベビー服・誕生日写真・玩具等の 1 業 1 店)を集め、共同でサービスを提供する。この試みは、異業種同士の集まりによって、お互いの協調が実を結び、成功を収める。この「赤ちゃん会」の結成は所期の目的を達成し、岡山専門店会の結成の踏み台となる。

— 岡山専門店会の発足 —昭和 5 年(1930 年)

新しい時代の商人として互いに心と心のつながりで、真に消費者のための店づくりを推進するため、1 業 1 店の組織、「岡山専門店会」を結成した(加盟店 30 店)。

— 全国に広まる専門店会運動 —昭和 7 年(1932 年)～

「岡山専門店会」が発足して 3 年目、着々と業績を伸ばしつつあることを知った『中外商業新報』が商店欄に 5 日間にわたり、方針、事業、指導精神を連載、報道した。小売業界は不況にあえぎ、不安と混迷の時代に陥っており、この記事は大きな反響を呼び、全国の商業者の関心を強く呼び起こし、全国各地に専門店会が結成されていくことになった。

そして、日本専門店会連盟の歴史は、昭和 11 年 10 月 8 日、東京・明治神宮の社前に、岡山会、東京四谷会、小樽会、仙台会、静岡会、金沢会、徳島会、小倉会の 8 会代表が集まり、連盟結成式をあげた時から始まる。